

# 令和3年度第3回農福連携推進研修会開催要領

## 1 開催趣旨

近年、目に見えて農福連携の取り組みが広がってきています。国は、農福連携を「障害者等の農業分野での活躍を通じて、農業経営を発展させるとともに、障害者等の自信や生きがいを創出し社会参加を実現する取り組み」とし、双方に利のある取り組みであると説明しています。今回の研修では、農福連携に取り組むことでどのようなメリットがあるのかを、先進的な農業関係者から学びます。

2 主催 一般社団法人岐阜県農畜産公社(ぎふアグリチャレンジ支援センター)

3 期 日 令和3年12月14日(火) 午後1時30分～午後4時00分

4 会 場 羽島市民会館 第一会議室 TEL(058)392-2222  
〒501-6255 羽島市福寿町浅平3丁目25番地

## 5 研修内容

① 講演「福祉施設との作業請負連携の取り組みについて(仮称)」(13:30-14:20)

講師：(株)笠間農園 取締役 笠間 令子 氏

(株)笠間農園の概要 「約40年前から野菜作りを行う」  
○石川県河北郡内灘町で小松菜、枝豆などを栽培。経営面積3.7ha。作業療法士の経験を生かし、2017年から農福連携に取り組む。2020年農林水産省・ディスカバー農山漁村の宝\*に選定。

\*農山漁村の有するポテンシャルを引き出し地域の活性化、所得向上に取り組む優良事例

② 講演「JAぎふの農福連携の取り組み(仮称)」(14:30-15:10)

講師：(株)JAはっぴいまるけ 服部 努 所長

(株)JAはっぴいまるけ概要  
○令和2年7月1日JAぎふが設立、令和2年10月に特例子会社に認可された。社員21名うち障害者は16人で、自作・受託の農作業に加え受託障害者向け体験農場「まるけふぁーむ」など地域活動へも活動範囲を広げている。

③ 情勢報告 岐阜県農政部農業経営課 担い手対策室就農支援係

井口久美子技術課長補佐兼就農支援係長(15:20-16:00)

6 参加者 農業者、農業関係者、JA職員、障がい福祉サービス事業所職員、特別支援学校の教職員、行政関係者等

7 募集定員 40名

8 申込方法 別紙申込用紙に必要事項を記入の上、令和3年11月26日(金)までに、(一社)岐阜県農畜産公社農福連携推進室にお申し込みください。

FAX 058-276-1268

## 9 新型コロナウイルス感染拡大防止のためのお願い

- (1) 当日受付で検温を行います。発熱のある方その他風邪症状のある方は入場をお断りすることがあります。
- (2) 研修中はマスクの着用をお願いします。
- (3) 来場時及び会場再入室時等の手洗い、アルコール消毒を徹底してください。
- (4) 研修中は休憩時間も含めて、いわゆる三密の環境を避け、大声での会話はお控えいただくようお願いいたします。
- (5) 講演中は、参加者それぞれの距離をあけて着席していただき、出入口・一部の窓を開放して換気を行います。
- (6) 施設入り口に掲示してある「岐阜県感染警戒QRシステム」への登録をお願いします。

## 10 その他

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大防止には万全を期しておりますが、感染拡大の状況によっては開催方法を検討する場合がありますので、ご承知おきください。
- (2) 定員を設けております。定員を超える参加希望があった場合は、抽選のうえで参加をお断りする場合がございます。

## ※交通・アクセス

- ・名神岐阜羽島 I Cより車で5分
- ・新幹線岐阜羽島駅から徒歩で10分
- ・名鉄新羽島駅から徒歩で10分
- ・名鉄羽島市役所駅から徒歩で10分



<別紙>

12月14日(火)『第3回農福連携推進研修会』申込用紙

**FAX058-276-1268**

(番号に間違いがないようご確認ください)

締め切り 11月26日(金)まで

事務局：(一社)岐阜県農畜産公社農福連携推進室

TEL：058-215-1503 担当：西村、小野木

所 属			
住 所			
電話番号		FAX	
E-mail			
参加者名	(フリガナ) 参加者①		
	(フリガナ) 参加者②		

※ ご記入いただいた個人情報は、本研修会以外の目的で使用することはありません。

※ 主催者から参加受付の連絡は行いません。定員超過で、参加をお断りする場合にのみご連絡させていただきます。